

委員会だより

<1月4日(日) 14名出席>

【1】財務報告：97年12月単月、及び年度決算報告を委員会了承。

【2】議題：

(1) 12/24深夜ミサ後に行われた、1)神父様叙階40年、2)神父様80歳ご誕生日、3)クリスマスお祝、の3つを兼ねたパーティは盛会裏に無事終了した。皆様のご協力に感謝申し上げます。

(2) 教会委員長、委員の改選について：

委員選出委員会(山崎神父様、上野壮年会長、鈴木婦人会長で構成)での選出経過について上野 壮年会長より説明あり。

・次期委員長は、花坂さん(97年度副委員長)に願います。

・後任副委員長(女性)については、公示日(1/11)迄に婦人会で選任する。

・典礼を担当してこられた小山(恭)委員は退任され、後任は位田さんが担当される。

・他の委員は、原則留任。

以上を骨子に、1月25日の信徒総会に諮る。

(3) 1月11日の成人の日、若者の集いの段取りについて(小野寺副委員長説明)：

・成人該当者は7名。

・当日ごミサは、「青年会ミサ」の形で行う。

・「若者の集い」の運営については、小野寺さん、青年会に一任する。当日は「サロン」の日だが、壮年会は、通常のサロンの準備を行う。

・該当者に対するお祝品は、小野寺さんより山崎神父様に相談する。

(4) 信徒総会開催の公示：既に1月4日現在公示済み。

(5) 信徒総会プログラム：清水さん原案に、順序等、一部修正を施して公示。

(6) 教会自衛消防隊メンバー表：委員改選に伴い、メンバーを入れ替えて別途掲示する。

(7) 9時ごミサ後のお聖堂清掃の件：

・一部、清掃の在り方に関する問題提起が挙がっているが、中和田教会として下記の統一指針で臨むことを確認、決定した。

1) 現行の9時ミサ後のお聖堂清掃(床)は、「全員参加」の原則のもと、長期間に渡る審議を経て教会総会でスタートした指針であり、このまま続行する。

2) 但し、9時ごミサ後に、行事が予定されている場合には、随時、中止するなど、臨機応変、且つ弾力的に運営することとする。



壮年会だより

<1月18日(日) 14名出席>

総会及び新年会を開催した。

会長より、昨年の平成九年度会計報告、行事報告があり、また十年度の行事予定の説明があった。

また中和田会報の執筆予定者は以下の通りとなりましたので、宜しくお願い致します。尚、原稿締切は第四日曜日朝です。

月	締め切り日	担当
3月号	2月22日	石井さん
5月号	4月26日	東原さん
7月号	6月28日	橋さん
10月号	9月27日	滝川さん
12月号	11月22日	美底さん

豊富な料理と飲物を前に総会は早々と切り上げ、早速新年会に移行。おいしい手料理や珍しい酒類の差し入れもあり、質、量ともに会費をはるかにしのぐ豪華な会となった。話もはずみ、趣味、哲学、思い出話、社会経済動向等々、幅広い話題で盛り上がった。時間のたつのも、外の雪景色も忘れる中、楽しい会合もお開きとなった。



婦人会だより

<1月18日(日) 45名出席>

☆平成10年度総会

- ・平成9年度会長、役員挨拶
- ・平成9年度行事報告、会計報告
- ・平成10年度役員紹介、挨拶
- ・平成10年度行事予定、予算案の承認(会費は1ヶ月100円で継続を承認)
- ・質疑応答

☆1月例会

- ・日曜日の全員での掃除の件。婦人会としては、今年度も継続を希望。なお、掃除の準備と片付けは、今後地区ごとに順次担当することになりました。
- ・2月の例会で、遠足の候補地について話し合いをします。考えておいてください。
- ・その他、横浜教区婦人同志会の講演会や聖母の園でのチャリティーコンサートの案内がありました。詳細は掲示板をご覧ください。

☆新年会

- ・神父様のお話。
 - ・中谷さん、井上さんの大正琴演奏。
 - ・竹田さんのハーモニカ演奏。
 - ・全員での合唱。
- などで、なごやかな中に終了しました。

☆新会員の紹介(敬称略)

- ・小野イク Tel.805-4540 (A地区)

☆訂正とお詫び

(下線部分の訂正をお願いします)

- ・連絡網
橋本 宏美：Tel.801-5634 - 0466-47-0229
- ・地区別表
(A地区) 江尻 由子 - 江尻 迪子
- ・掃除当番表
(初金曜日) 松井 - 松田
(第2土曜日) 下山(利) - 小山(利)

次回例会は2月15日(日)、次回当番はC地区です。

今月の予定

委員会	2月 8日
献堂25周年	2月 24日
灰の水曜日	2月 25日
サロン	2月 8, 22日
レジオ	2月13, 20, 27日



第233回

カトリック中和田教会
広報委員会発行
泉区中田北 1丁目 9-1
Tel. (045) 803-6141
1998年 2月8日



思いワズラウの事 ③

山崎 正俊



あの頃、リジュの聖テレジアは、フランス出身の神父にとっては、いくら話しても、話したらないほどの親しみのある聖人でした。聖テレジアを守護の聖人としている教会、その庭に小型のルルドの洞窟がある教会もすくなくありません。洗礼名の、テレジアもはやったものです。勿論、聖母マリアはすくなくなりましたことありません。私の洗礼の教会も洗礼の日も、召命の呼び掛けを受けた教会さえ、聖テレジアの名とルルドの聖母、十月三日、二月十一日と深く結びられていました。

ところが、十月三日は、突然のこと、十月一日にかわってしまいました。ルルドはそのまま、世界の巡礼地ですけれど、『ルルドの姫君』は消え去り、『小さき花』は薄れて、新しいものとかわり、深い意味はどこにいったのか、御利益(ゴリヤク)主義の迷信くさいものと見分けにくいものとなり、共に現代的意義がアイマイで、「安心して頼れないもの」にされてしまい——ア、これは失言。

十月三日が十月一日に移された気がついたとき、私はビックリしました。その理由がわからなかつただけでなく、ある小さな出来事のためです。——新しい修道会は、「古くからある修道会のどれかの会則」によるものでなければ、認可されないことになっているという定めが、以前からあったということですが、「この修道会」がアシジの聖フランシスコの会則を選んでいて起こった事です。(それは、貧しさに徹するという画期的なものとして、私などにも魅力的なものです。イギリスの聖公会でさえも、それにならった修道会を続けているほどです。)

殉教

聖テレジアのはじめた生活様式は、「日々の**犠牲**」とたたえられるほどのものですが、誰にでも守り易いと云われるものでした。

アシジの聖フランシスコの会則に従いながら、この聖テレジアのモハンにもなりたいと考えたのでしょうか、困難は其処にはじまりました。十月四日は、この聖フランシスコの祝日でした。この会則は、前日の「十月三日」が「大齋の日」になっていました。その日は、大好きな聖テレジアの祝日ですからといっても、いやなことになります。——この会に入会するまでは、「ゴチソウの日」でしたのに、いまは断食の日。これは淋しいことの限りです。何とかしてくださいの祈りの合唱。そして「偉大な先例の発見」。それは偶像崇拜をまぬがれての、盛大な「ゴチソウの日」の獲得です。——その日は太陽の衰弱と回復の祝日の意味しかなかったのですけれども、聖なる教えによると、キリストは此の世を照らす光・太陽ですから、この日を、「キリスト御降誕」を記念する喜びの日にする妨げなど、ありはしません。全世界の「クリスマス」の出来あがり。

これまでもなく、心の痛みはたいへんなものがあつたろうのに。司教様の寛大な思召しにおすがりしていた(らしい)、あの恥ずかしさに堪え続けた修道者たちのカレンな姿に添えて、教会は「三」のかわりに「一」をお選びになり、神様はこんなにスッキリした解決の道を、世のハジメから用意しておられるので、あのお二人に対する引け目など、何もなかった。気抜けしちゃ、いけませんか。

パパちゃんのぼやき

中谷 田鶴

いつも気忙しく、ほっとすればはや一日も終わり……の繰り返しで、名実ともに高齢者となって11年5ヶ月。物はなくすし、忘れるし、話はずれる、早とちりはする等々……、年だなあと気づいて、ひとり苦笑する。

50代の頃一緒に働いていた仲間の一人が、それはそれは生活の知恵を身につけていて、本当に感心してしまったことを思い出す。今でも私の身の回りには物知りが多く、感心したり、教えられたり、とても有り難いことだと思っている。

孫育てにマゴマゴと明け暮れしている今、この子らが成人した時の影響(大げさかな?)を思うと、冷や汗の出る思い。気を引き締めてと思うが、「まあ自分流にやるっきゃない」と、自分を甘やかす。

たまに家族の者に、「自分の来た道、自分の行く道、人はあんまり進歩しないもの」と、ぼやく。

昨年まだ幼い二人の子どもを残して逝ってしまった娘が、病床で歌っていた替え歌、

ママ、わがまま娘でごめんなさい
アコ(明子)はママの子でよかったわ
短い命でごめんなさい
ほんとに親不孝もん許してね
アコの思いを生きてママ
を思い出しながら、今は
ズイズズッコロバシ ゴマミソズイ
神様の言う通り ナノナノネ
と続けて、神様にすべてをゆだねている私です。

主のあわれみを 聖マリア祈りませ



98年度信徒総会議事録

40名の信徒各位の出席を得て、1月25日に開催されました。山崎神父様、清水委員長のお話、挨拶に引続き、下記議事が行われました。

- 1997年度活動報告(清水さん) :
特筆すべき事項として、
・広報がよくなり、広報を見れば教会全体の動きが掴めるようになったこと、
・婦人会の広範囲の活躍が目立ったこと、
が挙げられるが、広報に掲載されなかったことでも下記のように種々トピックスがあった。
1)建屋の補修工事 2)前庭美化 3)奉仕活動(白百合など) 4)レジオの祈り 5)カリタスジャパン他寄付 6)青少年を考える会の活動 7)聖歌隊の活躍、など多くあり、成果の多かった一年だった。
- 1997年度決算報告、ならびに1998年度予算案説明
一般会計、建設会計、愛の献金、信徒会会計の各々につき、甲斐さんから報告/説明、並びに提案があった。予算案自体に加えて主な提案は、次の2件。
・「愛の献金」から「一般会計」に30万円移行すること
・「建設会計」の借入金繰上返済(98年中に3年分返済)
また、97年度決算に関し、監査委員の宮崎さんから、監査実施の結果適法且つ正確であった旨報告された。
- 一粒会報告(小谷さん(総括)、小野さん(会計)) :
小谷さんより、一粒会の活動基調報告、本年度は一粒会60周年を迎えて、地区割りの是正が行われたり、長野県で総会が開催される予定の旨のお話、小野さんより1997年度の実績報告あり。1997年度収入は、合計347,227円で、全て本部へ送金済。

(4) 宣教委員会活動報告(七浦さん) :
第5地区の4つの活動の柱のうち、中和田教会として「青少年司牧問題への取り組み」を中心に、宣教委員会に報告して来た旨のお話あり。

- 以上の諸案件に関して、下記質疑応答あり。
- Q1: 昨年のクリスマス・パーティは70,000円の予算で行われて、料理がだいぶ余っていた。今年も70,000円の予算になっているが、もったいないのではないかと?
- A1: 予想参加人数の読みが難しく、はずれる場合もある。委員会に一任願いたい。
- Q2: 庭の手入れが婦人有志で行われているが、必要な経費の予算は?
- A2: 消耗部品費または予備費から充当する。非常に奇麗で評判が良く、有志の方々に感謝している。
注: 昨年度は、山崎神父様から3万円の寄付を頂いている旨補足あり。
- Q3: 予算編成が苦しい折り、敬老記念品代は削ってよいのではないかと?(敬老会員より)
- A3: ご提言と受け止め、検討していく。
またこれらに関連して、「金額の話ではなく、予算執行にあたっては、よく目的と効果を吟味すべし」との提言あり。
- 以上の方告、議事に関し、拍手で総会承認を頂いた。
- (5) 委員会メンバー交代
本総会をもって、6年間、委員長をつとめられた清水さんが勇退され、後任に副委員長であった花坂さんが就任、副委員長に阿部映子さんが就任された。また、5年間、典礼担当委員をつとめられた小山恭子さんが勇退され、後任に位田裕子さんが就任された。他の委員は、留任。

以上。

第7回横浜地区聖歌の集い

献堂間もない藤が丘教会への巡礼も兼ねて下記のように聖歌の集いが開催されます。多数の方のご参加をお願い致します。ご参加下さる方は、壁の名簿にご記名下さい。

日、場所: 4月26日(日)、藤が丘教会
内容: 受付 2:00~2:20
講演 2:20~3:20
宗教音楽家 小田賢二氏 「典礼と聖歌」
練習 3:20~3:50
ミサ 3:50~4:50
懇親会 4:50~5:50

お知らせ



聖歌の集いの練習

聖歌の集いに向け、練習を始めます。ミサ、掃除の後に行いますので、多数のご参加をお願い致します。若い方大歓迎です。

灰の水曜日(2月25日)

2月1日から2月22日の間昨年の枝を集めますので、御持参下さい。

ミサ当番表 (98年2、3月)

月/日	主日	朗読、奉納	オルガン	月/日	主日	朗読、奉納	オルガン
2/1	年間第四主日	上野	岩淵	3/1	四旬節第一主日	井上	岩淵
2/8	年間第五主日	青年会	美底	3/8	四旬節第二主日	青年会	美底
2/15	年間第六主日	婦人会C地区	石川	3/15	四旬節第三主日	婦人会D地区	石川
2/22	年間第七主日	石井	森田	3/22	四旬節第四主日	橋	森田
				3/29	四旬節第五主日	婦人会D地区	岩淵

※当番の方は10分前には集合して下さい。
※ご都合の悪い方は典礼委員までお申し出下さい。(萩原: TEL 802-6258)

ご挨拶

新婦人会長 小山 利江

平成十年一月二十五日

長い長い航海が終わりました。くつろいだ気分になり筆をとりました。壮年会長を経て、委員長就任、振り返ってみますと足かけ十年、色々な出来事があり、神父様をはじめ、諸先輩、委員会の皆様、壮年会婦人会の皆様のご支援、ご協力のたまものと、感謝して居ります。

錨を降ろし、船底に付いた貝藻の落とし、船体の塗装を仕直し、やっても見映えはしませんが、充電させて頂きます。総会において労いのお言葉を頂き誠に有難うございました。私達の中和田教会の輝きが永遠であります様に祈ります。

ご挨拶

前教会委員長 清水 聖



今迄は都合が悪く、なかなか婦人会活動に参加出来ず、なんとかお手伝い出来るかなと引き受けたとたんのお役目で大慌ての出発となりました。

幸い経験豊かな役員の方々と御一緒できること、また「今年度から新たに教会委員会に、副委員長として婦人一名が置かれる」とのこと、不慣れな私にとっては大変心強い思いです。

当会も世のせいと同じく平均年齢上昇の折、健康に気をつけながら『お互い様』の気持ちで、できる範囲のお手伝いを進めていけたらと思っております。

会員の皆様方には何かとお世話になります、御協力をお願い申し上げますと共に、役員一同一年間よろしくお祈り申し上げます。